

職場体験学習

教科・領域 総合的な学習の時間

山口市立阿東中学校 2 学年

キャリア教育の観点

生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。ねらいは次の3つです。

- ① 自分の適性を知り、あらためて自分の就きたい職業を考える。【自己理解・自己管理能力】
- ② 職場体験を通して、仕事の厳しさや楽しさについて理解を深める。【キャリアプランニング能力】
- ③ 社会生活に必要なマナーなど、社会の一般常識を身に付ける。【人間関係形成・社会形成能力】

体験前の学習

職場体験学習のオリエンテーションでは、働くことの意義を考えさせた後、職場体験学習のねらいを説明し、今後の学習計画について説明した。また、目的意識をもって意欲的に活動し、仕事の大変さ、あいさつの大切さなどを学び、有意義な3日間にしてほしいことを伝えた。

職業の分類の仕方は様々であるが、今回は、例としてあげたいいくつかの職業を「大きなものをつくる仕事」「小さなものをつくる仕事」「自然にかかわる仕事」「設計をする仕事」「研究する仕事」「芸術に関わる仕事」「人を楽しませる仕事」「人をもてなす仕事」「人にかかわる仕事」「守る仕事」「計画を進める仕事」「物事をとりまとめる仕事」の12に分類することを通して、たくさんの職業があることを学習した。また、簡単な向性検査を行い、自分は、外向性、内向性のどちらの傾向が強いかわかり、自分に合う職業を確認した。さらに、阿東地域にある職業を電話帳などで調べ、職業の分類で学習したことや1年生のときに行った職業調べをもとにし、自分が体験してみたい職業を考えた。

職場体験先の決定

職場体験先は、生徒の希望調査をもとに、教員が各事業所に受け入れていただけるかどうかを打診し、了承を得た後、生徒が電話連絡をし、依頼や時間等の細かい打ち合わせをした。生徒が書いた履歴書（その事業所・職種を選んだ理由や職場体験学習への決意などを記入）は、生徒または教員が事前に事業所へ持参した。職場への電話連絡については、事前に電話のかけ方について学習をした。職場体験先に電話をかけることを想定し、言葉遣いに気を付けながら友達同士でロールプレイをした。また、体験時のマナーについては、「体験を受け入れていただいているという感謝の気持ち」を常に頭に入れて活動してほしいことを伝え、相手に良い印象を与える服装や髪型、気持ちの良いあいさつや返事の仕方について考えさせた。

職場体験学習の実施

今年度の職場体験学習実施日は、7月31日（水）～8月2日（金）の3日間としたが、事業所の都合により違う日に実施したところもあった。実施場所は、基本的には阿東地域としたが、一部の生徒については、阿東地域以外の山口市内での実施となった。今年、豪雨災害のため、実施するかどうかの検討が必要となった。2年部教員が各事業所に連絡を取り、予定どおり実施可能な事業所については予定どおり実施したが、一部の事業所については、日程を変えて実施したり、生徒の体験先を変更したりして行った。当日、生徒は、家から直接事業所に通って職場体験学習を行い、2年部教員が分担して各事業所を回り、生徒の様子を把握した。生徒は初めてのことで緊張の連続だったようだが、学校では得ることのできない貴重な体験を積むことができた。

～生徒の体験日誌より～

- ・つらかったことは、昼になるとお客さんがたくさん入って何をすればいいかわからなかったことです。うれしかったことは、初めてお客さんに注文を聞いて成功したことです。分かったことは、お店の人がお客さんに対応するときは、なるべく笑顔で接することの大切さです。(飲食店体験生徒)
- ・大雨で石などが散らばっていてその片付けを暑い中やること、牛のフンがこびりついてそれをたわしで取ることがとても大変でした。私が置いた草を牛がおいしそうに食べてくれてうれしかったです。子牛が生まれるところを見ることができて良かったです。初めて見てびっくりしました。(農場体験生徒)
- ・葉牡丹の植え替えをして1ケース終わった時に、とても達成感を感じられてうれしかったです。生花店の仕事は、表では華やかだけど、裏では掃除や花の植え替えなどしていて、すごく苦勞しているのだと思いました。(生花店体験生徒)



- ・職場体験をしてみて、仕事って本当に大変だと感じました。大変だったけど、将来の夢は変わらず、保育士になりたいです。今まで以上になりたい気持ちが強くなりました。(保育園体験生徒)
- ・模擬取り調べをして、その難しさが分かりました。被疑者にどういうことを聞けばいいのか、どういう対応をすればいいのかということを学ぶことができました。一般的に知っておくといいいことが、検察官になって役立つこともあるということも分かったので、社会での常識をきちんと身に付けたいと思いました。それと、犯罪の被害に遭われた方の支援室では、ソファなどの色が暖色系にしてあり、それは「少しでも被害者に心を安らんでもらいたいから」という思いからだそうです。「まずは被害者の気持ちに立って」という心がすごいなと思いました。(検察庁体験生徒)

～事業所の意見感想より～ (アンダーラインの部分は改善すべき点)

- ・とても礼儀正しく、仕事に対して真面目に取り組んでいました。また、災害が重なり、お店も忙しく、慌ただしかったですが、お店の戦力となってくれ、こちらがとても助けられました。お客様に対してのあいさつの声が大きく出せることができればよかったなと思いました。もう少し日にちがあれば、仕事にも慣れ、いい仕事ができていると思います。(コンビニエンスストア)



- ・廊下の掃除など丁寧にいただきました。あいさつをするときもう少し大きい声で笑顔で接してもらったらよかったと思いました。入居者の方と一生懸命関わろうとしている姿が見られました。「あんずの日」の接客では、落ち着いて対応していました。(老人ホーム)
- ・行事(誕生会)の出し物をお願いしたところ、二人で何度も練習し努力する姿が見られました。緊張していたのか声が少し小さいようなので、保育園などでの体験学習では子供たちのパワーに負けにくいくらい大きく、はっきりとしゃべると、子供たちとももっと仲良くなれると思います。(保育園)
- ・職場の仕事の流れを見るだけでなく、「自分は〇〇をしてみたい」と目的をもって臨まれると、仕事の大変さ、おもしろさなどが少しは分かるのではと思います。(保育園)
- ・積極的に課題に取り組んでいました。職業への関心も高く、他の職業ではありますが、既に将来の夢があるようで、多くの職業があり選択の幅が広がる中、職に就くことの大切さや必要性を感じられたと思います。(消防署)

まとめ・発表会

職場体験学習後、生徒一人ひとりが各事業所に礼状を書くことで、感謝の意を表すこととした。また、2学期に入ってから体験したことをレポートとパワーポイントによるプレゼンテーションにまとめ、学年発表会を行った。パワーポイントの使い方については1年生の時にも学習しており、それを生かして今回のまとめを行ったので、より分かりやすい内容のまとめができたと思う。学年発表会には1年生も参加し、大変興味をもって2年生の発表を聞いた。1年生は「仕事内容を詳しく説明されていたので来年の仕事選びの参考になりました。」「今日の2年生の発表を生かして、来年につなげていきたいと思います。」などの感想をもち、1年生の今後の進路学習につなげることができた。10月末に行われる文化祭では、代表生徒がステージ発表し、その他の生徒はレポートにて紙上発表（展示）をする予定である。



考察・課題

生徒の感想から、職場体験は大変なこともあるが、将来その職業に就きたいという思いが強くなったり、コミュニケーションのとり方を学んだり、主体的な進路選択や将来設計への意欲を高め、地域の方との人間的なふれあいを図るために大変意義のあるものであることが分かる。

事業所の感想では、あいさつの声が小さい、生徒自身の目的がはっきりしていない、などというご意見があったが、それはそのまま本校生徒の課題であるといえる。今後の様々な活動の中で改善できるように指導していきたい。

全体計画との関連

本校のキャリア教育の指導目標は、「各教科、道徳の時間に培った基本的知識、学力、価値観をもとに、特別活動及び総合的な学習の時間における体験的な活動を通し、学ぶことや働くことの意義を理解し、主体的な進路選択や将来設計への意欲を高める。」である。職場体験を行った第2学年の重点目標は「職業や上級学校についての情報を収集し、自己の能力や適性を吟味しながら、自己理解を深め、よりよい進路選択をしようとする態度を育てる。」である。職場体験学習を通して、働くことの意義について理解が深まり、自分の能力や適性を知ることができ、目標にそった活動ができた。今後、職業や上級学校についてさらに様々な情報を収集し、よりよい進路選択ができるようにしていきたい。